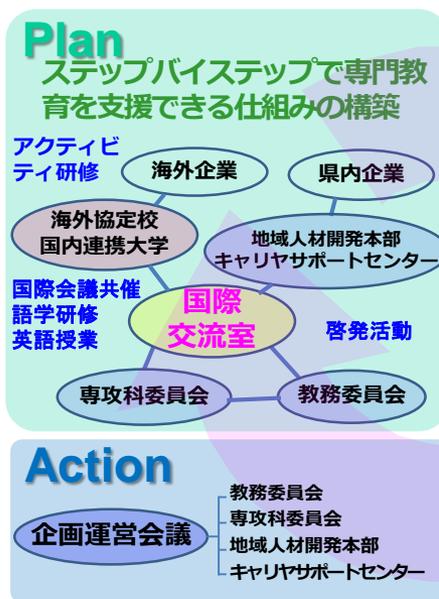


# 協定校との連携による学生と教員が継続して成長する包括教育プログラム

## 【取組の目的、内容】

1 学年から専攻科にかけ、海外研修プログラム修了学生らと経験の共有、外国人講師による定期的な英語授業の実施、海外協定校での共同実務研修や学会発表などを段階的に経験させる。漠然とした興味から具体的な興味や将来の夢を描けるよう年次進行に伴い自然に学生の意識を改革し、実践的なグローバルエンジニアへとスパイラルアップできる仕組み、及びそれを指導する教員も共にキャリアアップできる仕組みを構築することを目的とする。

## 【実施体制】



## 【工程表】

学年進行	専攻科	AK & PE	Plan	Do	Check	Action
			1st Q (4-6月)	2nd Q (7-9月)	3rd Q (10-12月)	4th Q (1-3月)
			EMSES GEE	ISATE	ISTS CIIDT	NANOScitech
5年		国際会議参加				
4年		GETプログラム	IUT, RMUTT	RMUTT	IJWTEER	UITM, RMUTT
3年		協定校研修	STEP BY STEP & SPIRAL UP			
2年		海外英語研修	RMUTT アクティビティ研修			
1年		英語による授業	Ara, UiTM			
		学生の啓発活動	協定校招聘教員による物理化学及び専門授業の実施			
			国際交流活動報告会/留学相談会			
			キャリア概論		キャリア概論	

## 【成果指標】

- 学生の協定校研修や国際会議参加など、国際交流活動する学生数増： 32名（H29）→ 40名以上（H30）
- 海外協定校数増： 10校（H29）→ 12校（H30）

## 【第4期中期目標期間への展開】

産業構造がグローバル化する中、国際学術交流、実務英語教育、グローバルキャリア教育体制を敷くことにより、社会がわかる技術者、世界がわかる技術者を育成する。

すでに海外10大学と締結している交流協定をさらに発展強化し、研修プログラム、国際シンポジウム、海外インターンシップ等への参加を1年次生からの参加を強力に推し進めることにより、産業界を牽引する人材を育成する。